

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 23 日 更新

事務事業名		雨水利用促進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩	
	施 策	19	水環境の保全				所属課	環境衛生課	担当者名	黒田 朋宏	
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止				所属班	環境衛生班	(内線)	1144	
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11380	根拠法令	合志市雨水タンク設置補助金交付要綱			
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地下水保全のため雨水浸透ますの設置補助金を交付していたが、対象者が少なく（開発に伴う雨水浸透ますの設置は対象外）平成20年度から補助を行っていないため、雨水浸透ますに替わる地下水保全対策として平成21年度よりこの事業を計画した。 平成24年度より「くまもと地下水財団」の補助要綱に合わせ、補助金の額は雨水タンクの容積が200ℓ以上の場合、本体の取得価格の1/2以内、上限を35,000円とし、容積が200ℓ未満の場合、本体取得価格の1/2以内、上限を24,000円とする。また助成の対象は1世帯及び1事業所1基までとし、雨水タンクの有効貯水量が50ℓ以上であることとする（交付した補助金全額がくまもと地下水財団から支給される）。雨水を散水等に再利用することにより、地下水の採取量の減少が見込まれ節水対策になる。
【業務の流れ】	補助金交付申請、決定通知、完了報告、完了検査、確定通知、支払い。 くまもと親財団への補助金交付申請、補助金の請求事務、実績報告書提出
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（補助金）
【意見や要望】	雨水タンク販売店や販売価格についての問い合わせがある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、支払い事務を行った。実績:申請7件、補助額158,000円。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 雨水タンク設置者に購入費の助成(35,000円×4基、24,000円×2基)を予定している。 令和6年度より「10206くまもと地下水財団参画事業(統合親・名称変更)」「10205地下水採取量報告事業」「11380雨水利用促進事業」を「10206地下水関係事業」に統合予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 申請・交付件数	件	10206くまもと地下水財団参画事業・10205地下水採取量報告事業・11380雨水利用促進事業を10206地下水関係事業へ統合することに伴う減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ ア: 世帯・事業所		⇒ ア: 世帯数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ ア: 雨水を有効活用する。		⇒ ア: 雨水タンクを設置した世帯・事業所数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
雨水タンクを設置することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることが重要であり、成果指標を「雨水タンクを設置した世帯」とし、目標値については相談件数が増加傾向にあることから「6世帯」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	件	0	7	6	7	0	0	0	0
② 対象指標	ア	世帯	25,616	26,122	25,992	26,475	0	0	0	0
③ 成果指標	ア	世帯	0	7	6	7	0	0	0	0
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		117	188	158			
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	0	117	188	158	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	2	3	5	4	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	20	110	240	120	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	78	418	956	437	0	0	0
			千円	78	535	1,144	595	0	0	0

事務事業名	雨水利用促進事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 多くの世帯へ普及することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付に関する事業のため削減は厳しい。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため、正規職員以外では問題がある。また、適正な事務執行のための最低限な事務量と考えられるので削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全世帯・事業所を対象としているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

問い合わせのみの案件も数件あり、雨水タンクを購入し雨水を再利用する世帯が増えるように周知を図ることが必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 令和6年度より「10206くまもと地下水財団参画事業（統合親・名称変更）」「10205地下水採取量報告事業」「11380雨水利用促進事業」を「10206地下水関係事業」に統合予定		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								